

令和 4 年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立紀北工業高等学校 校長名： 神藤 恭光

【目指す学校像】学習活動を通して個人の能力を充分伸張させ、勤労愛好と協同一致の精神を育成し、「知」「徳」「体」のバランスのとれた生きる力を身につけ、社会に対する適応力のある人材を育成する学校。
 【育てたい生徒像】産業技術人として肝要な合理的、科学的、創造的精神を最大限に伸ばし、正義と責任、男女平等、自他の敬愛と協力を重んじ、将来の生き方や在り方を探求することが出来る、有能で誠実な産業人として心身ともにたくましい生徒。

学校評価の公表方法
 学校運営協議会等で取組を説明し、意見をいただくとともに、ホームページ等により評価結果等を公表する。さらに地域や保護者等に対して、分かりやすく、より広く公表できるよう努める。

現状・進捗度	A	十分に達成している。	(80%以上)
	B	概ね達成している。	(60%以上)
	C	あまり十分でない。	(40%以上)
	D	不十分である。	(40%未満)

自己評価（分析、計画、取組、評価）							
番号	計画・取組			評価（2月）			
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策
1	授業の充実・改善を行い、主体的な学習習慣と確かな学力の定着を図る。	B	学び直しの充実と、学びに向かう力の醸成を計画的に実施	苦手の克服と生徒個々の成果を確認、評価を実施	B	ICTを活用して、分かりやすい授業展開に取り組んでいる	授業評価と観点別評価を用いて、授業改善と授業導力の向上を目指す。効果的にICTを用いた授業展開を進めるため、専門科棟にWiFi環境整備を進める。研究授業への参加人数を増やし研修の充実を図る。
			研究授業や公開授業を行い、授業方法の研究を図る	校外外に向けた研究授業、公開授業を実施	B	1年間を通じて、研究授業の実践ができた	
			生徒による授業評価の効率的な活用	生徒による授業評価を実施し、授業の改善・検証の会議を実施	B	授業評価の結果を元に授業改善を進めている	
2	基本的な生活習慣を確立させ、心身の成長と規範意識の向上に努める。	B	家庭連絡の徹底と生活習慣の確立	三者面談や保護者との連絡を密にし、遅刻生徒数の前年比10%の減少	B	保護者と連携を密にし、学期ごとに三者面談を実施する	基本的な生活習慣を確立させるため、教職員全員による声掛けを通じて、小さなサインを見逃さないようにする。様々な機会を通じて、規範意識を高め、心と体の健やかな育ちを進める。
			教科指導や教育相談など、様々な機会に生徒指導に取組、規範意識や人権感覚の向上を目指す	地域の関係機関と継続的かつ組織的に粘り強い指導を実施	C	より一層、関係機関との連携を高め取組を進めている	
			職員全員による挨拶と声かけの奨励、登校指導及び校内巡視	全職員からの積極的な声かけ100%実施、生徒指導件数を0に近づける	B	教職員全員での挨拶を通じた声掛けを実施している	
3	職業意識の涵養を図るため、継続的に計画された「キャリア教育」の充実に努める。	B	個人面談や進路ガイダンス、応募前職場見学の実施	就職内定率100%の確保と全員の第1志望企業の内定を目指す	A	就職内定率100%達成できる。今後は、第1志望企業の内定を目指す	体系的な「キャリア教育」を計画している。計画を実施するため校友会、関係機関と連携を密にして、より充実した取組を進める。また、将来を見据えたインターンシップの実施。
			「わかやま産業を支える人づくりプロジェクト」を積極的に推進する。	校友会や関係機関との連携を深めながら積極的に推進する	B	校友会の企業説明会から、企業研究を深めることができた	
			インターンシップの充実	生徒、保護者、企業等と連携を深めながら計画的に実施	B	コロナ禍、3年振りの1年生全員にインターンシップの実施	
4	工業高校として特色ある学校づくりを推進し、地域連携や地域の企業等と連携を密にして、産業を支える人材の育成を図る。	C	ものづくりを中心とした教員研修の充実	夏季研修等を利用した技術講習会や、事業所での研修への参加	B	様々な機会を通じて技術講習ができた。	学校運営協議会を通じて、工業高校として特色ある学校づくりを進める。企業連携や地域連携で熟練技術や技能を学び産業人の育成を進める。
			地域企業技術者による講習を実施	地域企業技術者の招聘	B	技術者から学び高度な資格取得する。	
			各学科における、各種資格取得に向けた取り組みを実施	各種資格試験取得に向けた補習等を実施し、1つ以上の資格取得を目指す	A	資格取得に向けた補習を実施	

学校関係者評価（7月・1月）

○生徒による授業評価アンケート（7月）
 授業の改善を考える上で、授業評価アンケートは貴重なデータである。今後の教科指導に活かすため、職員会議でデータを分析し、共通理解を図った。

○学校評価アンケート[生徒]（1月）281名

- ・本校での学校生活は充実していると思いますか。思う94%
- ・本校には、他の学校にない特色があると思いますか。思う94%
- ・分かりやすく、充実した授業が多いと思いますか。思う84%
- ・本校に入学してよかったと思いますか。思う92%

昨年度より、ほとんどの項目で、高い評価があった。（生徒の意見）
 概ね高評価ではあるが、授業、生徒指導、や学校行事に関する運営等、施設の充実において、改善を期待している生徒の意見があった。

○学校評価アンケート[保護者]（1月）260名

- ・明るく生き生きと学校生活を送っていると思いますか。思う92%
- ・他の学校にない特色があると思いますか。思う93%
- ・進路指導が適切に行われていると思いますか。思う92%

昨年度と同様、高い評価項目が多くあった。（保護者の意見）
 概ね高評価ではあるが、特に、よりきめ細かな個々の生徒指導において、改善を期待している保護者の意見があった。

○学校運営協議会
 4回の学校運営協議会を通じて、本校の運営方針や生徒の状況を良く理解していただき、コロナ禍における学校運営について好評価を頂いた。今後、少子化にともなう本校の在り方や、学校の広報活動、地域連携を通して、地域になくはない工業高校を目指していく。